

事務事業名		市政モニター事業		☐ 実施計画登載事業 ☐ 総合戦略登載事業	
政策体系	政策名	017 自立した行政経営の確立		事業期間	
	施策名	29 市民参画と協働の推進		☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 S50 年度～)	
	基本事業名	01 広報・広聴活動の充実		☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入	
根拠法令				予算科目	
所属	部課名	企画政策部秘書広報課		会計	款
	課長名	近江信敏		項	目
	係名	広聴広報係	電話	0192-27-3111	事業
	担当者	佐藤誠	内線	210	
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				事務事業区分	
地区公民館や各種団体から推薦していただいた市民や公募による市民をモニターとして委嘱し、市政に対する意見や提言等を寄せていただいている。 推薦していただく際には、男女の別及び年齢構成を配慮し、市民全般を網羅するようにしている(平成30・令和元年度:推薦28人、公募2人)。 モニターの委嘱期間は2年間で、年1回全体会議を開催し、市の現状の理解及び意見交換をしていただいている(モニターの任期:平成30年4月1日～令和2年3月31日)。 モニターの職務としては、前述の全体会議出席のほか、文書による定期報告(年4回程度)と随時報告がある。また、市議会の傍聴をしていただいている。				A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(A～D以外)	
全体計画(※期間限定複数年度のみ)					
総投入量 (千円)				国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0	
人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0					

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

前年度実績(前年度に行った主な活動)

・全体会議1回を開催し、9人のモニターが出席した。定期報告は、4事項について実施した。随時報告は3件あった。
・市議会傍聴は、のべ5人が行った。

今年度計画(今年度に計画している主な活動)

・全体会議1回
・定期報告4回
・市議会傍聴1回

② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等

委嘱した市政モニター

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

市政に対して、さまざまな立場で率直な意見や提言等を述べていただく。

④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)

市民の声を市政に反映させる。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)

名称	単位
ア 全体会議の出席者数	人
イ 定期報告の回答者数(のべ)	人
ウ 随時報告での意見・提言等	件

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)

名称	単位
カ 委嘱した市政モニター	人
キ	
ク	

⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)

名称	単位
サ 定期報告の回答者数(のべ)	人
シ 随時報告での提言件数	件
ス うち実現または実現に努力しているもの	件

(2) 総事業費・指標等の推移

			年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(実績)	2年度(目標)	
			単位							
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千 円						
		都道府県支出金	千 円							
		地方債	千 円							
		その他	千 円							
		一般財源	千 円	128	146	133	142	133	173	
		事業費計 (A)	千 円	128	146	133	142	133	173	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時 間	50	100	100	100	100	100	
		人件費計 (B)	千 円	200	400	400	400	400	400	
		トータルコスト(A)+(B)	千 円	328	546	533	542	533	573	
⑤活動指標		ア	人	9	16	11	16	9	30	
		イ	人	55	68	68	69	62	80	
		ウ	件	3	75	55	4	3	50	
⑥対象指標		カ	人	30	30	30	30	30	30	
		キ								
		ク								
⑦成果指標		サ	人	55	68	68	69	62	80	
		シ	件	3	30	5	1	0	30	
		ス	件	1	20	1	0	0	20	

事務事業ID	0365	事務事業名	市政モニター事業
--------	------	-------	----------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
鈴木八五平市長が市民世論に基づく民主的な市政を推進することを目的に設置した。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
委嘱するモニターの人数に変化はない。
市民提言箱の設置やEメールによる提言も受け付けるようになり、意見・要望及び提言を以前より自由かつ随時受け付けることができるようになった。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
特になし。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】 モニターから受けた意見・要望及び提言等は、担当課で検討され、可能なものから順次対応していることから、市民の声が市政に反映されており、結びついている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】 市政に対する意見を述べる機会の少ない方をモニターに委嘱し、市民ニーズの的確な把握をする必要があり、妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】 男女、年齢、地域及び所属団体等を網羅してモニターを推薦していただいているので、これ以上拡大・縮小の余地はなく、適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 定期報告について、庁内において市政モニター制度の積極的な活用の周知とモニターから回答しやすいように質問内容、時期、回答までの期間等を設定しており、成果向上の余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】 ☒ 影響有 ⇒【その内容】 積極的に市に対し、意見、要望及び提言を述べる方からの意見、要望及び提言しか把握できなくなる。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 1人年間上限5,000円の報酬と活動割を導入し、会議出席、定期報告の実績により報酬を支払っており、削減余地はない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 全体会議は年1回、定期報告は年4回、随時報告は適宜対応しているが、委託すべき業務内容となっていない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 該当なし。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果																					
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 特になし。	<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	市政モニターは、市民から直接市政に対する声を聴くことのできる、有効な制度であることから、より積極的な活用が図れるよう、庁内での定時報告の項目掘り起こしに努めながら、現状を維持していく